



平成30年11月号 発行 阿久根市子育て支援センター
72-3939



お芋の収穫

10月24日(水) 牧内農村環境改善センターにおいて、子育てサークルに参加する親子が「お芋ほり」に挑戦しました。晴天が続き、土が硬くなっていたうえに、お芋が大きく大きく育っていたため、作業は難航しました。そんな中、初めて手にする鍬を使って、なんとか掘り起こすことができたときの喜び！「うんとこしょ♪どっこいしょ♪」と、かけ声をかけながらの収穫はとっても楽しそうでした。獲れたお芋はお味噌汁の具に、天ぷらにと今夜の夕飯が待ち遠しくなりそうな会話がはずむなか、せっせとコンテナへ。そして、お持ち帰り用は好きなだけ袋に入れて♪

土の匂いや感触を楽しんだり、お芋ほりを体験したことで親子のふれ合いを満喫した一日になったのではないのでしょうか。

なお、事前に御協力くださった改善センターの職員の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



☆☆大切なわが子を映像漬けにしない！☆☆ ～教育番組や教育ソフトならばいい！？～

乳幼児は、光刺激や強い音刺激、新奇な刺激にひきつけられることはわかっていますが、自然とは異質の視覚刺激が、子どもの認知や社会性の発達にどのような影響を与えるかまだわかっていません。乳幼児期にテレビを用いることの安全性も有効性も科学的には証明されていないのです。

乳幼児期は、人や物、自然と直接触れ合いさまざまな能力を獲得します。つまり乳幼児期の体験は学習の機会なのです。子ども向けの楽しい番組ほど、子どもはテレビにくぎ付けになるため、その時間が長時間になることは、学習の時間が減ると考えたほうがよいかもしれません。

映像漬けになっていませんか？ ★5つのチェックポイント★

- 1 テレビを消すと泣く・嫌がる。
- 2 テレビに映る子は好きだが、ほかの子どもに関心がない。
- 3 テレビ以外ではあまり笑わない。
- 4 テレビの言葉や遊びを繰り返す。
- 5 テレビには集中できるが、絵本には集中できない。



スイートポテトをつくろう♪



材料

さつまいも・・・約250g(小1本)
砂糖・・・15g バター・・・15g
牛乳・・・30g 卵黄・・・1/2個

作り方

- ①さつまいもの皮をむき、さつまいもが軟らかくなるまで蒸す。(お湯でゆでたりレンジを使ってもよい)
- ②さつまいもをつぶす。
- ③バター、砂糖、牛乳をさつまいもに混ぜて、よく練る。
- ④③をアルミカップに入れ、卵黄を溶き表面に塗る。
- ⑤オーブントースターで5分程度焼く。

★③を餃子の皮に包み、油で揚げてもおいしいですよ★

おすすめ絵本

やさいのおなか

作:絵 きうち かつ
出版社:福音館書店



「これ、なあに？」野菜を真ん中ですっぱり切った断面が、影絵のように白黒で出てきます。ページを開くと、色のついた絵があらわれ、最後に正解の野菜の絵があらわれます。ネギ、レンコン、ピーマン……。みたことあるようなないような、不思議な形。いくつわかるかな？

もりのふゆじたく

作:絵 たるいし まこ
出版社:福音館書店



動物たちは森でせっせと木の実ひろいを始めました。でも、気のいいたぬきは仲間の手伝いばかり。何も拾えずに、疲れはてて家へ帰ってみると……。自分だけがいい思いをしようとするのではなくお互いの事を思って行動する優しさや温かさが感じられそうです。

かぜの予防をしっかりと

かぜのウイルスは冬の寒さと乾燥が大好き。そろそろ流行が気になります。日ごろから予防を心がけて、元気に冬を過ごしましょう！

かぜ予防6か条

- ① うがい、手洗い
- ② 汗をかいたらすぐ着替え
- ③ バランスのよい食事
- ④ 部屋の換気と加湿
- ⑤ 規則正しい生活リズム
- ⑥ 人込みを避ける

秋も深まり、朝夕は冷え込む季節になってきました。季節の変わりめ、子どもたちの体調の変化に気を付けながら、元気に過ごせるようにしたいものです。秋から冬に多い感染症は、主に水ぼうそう、インフルエンザ、おう吐下痢症などです。なかには、予防接種を受けることで免疫力をつけたり、病気の予防や症状を軽減したりすることができるものもあります。